

令和6年度
第3回 学校運営協議会

12月10日(火)「まなびの発表会」の様子

令和6年12月13日(金)13:40～

浜松市立浜名小学校

1 日 程

授業参観	13:40～14:00	各教室
全 体 会	14:00～15:30	多目的室
連絡事項	15:30～15:40	多目的室

2 内 容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議長の選出
- (4) 前回会議録の確認
- (5) 熟議

① グループワーク

	委 員	オブザーバー	学 校
課題検討部	○加藤弘明 平野岳子 渡辺東作	望月聡太 金子まなみ	山田順子
地域体験部	○野末将平 高林 正 池谷勝元	渡邊涼子 協働センター	平本智之
学校支援部	○町田幹子 北村孝義 佐々木大輔	内山益巳 松島一博 中道三枝子	伊藤 充 柴田素女枝

○2学期末の学校評価の様子（主幹）

○いじめ認知の状況（教頭）

○学校評価の記入

○学校評価についての意見交換（授業参観や行事参観の感想を交えながら）

○意見交換を受けての来年度の教育活動へ向けてのご意見

※記入した「学校に関する調査」の用紙は、会の終わりに回収します。

③ 部別報告

(6) その他

※ 第4回学校運営協議会は令和7年2月14日(金)の予定です。

令和6年度 第2回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月11日（水）（13時40分から14時00分まで授業参観）
14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 浜名小学校 多目的室
- 3 出席委員 加藤 弘明、渡辺 東作、野末 将平、高林 正
佐々木大輔、町田 幹子
- 4 欠席委員 平野岳子、北村 孝義、池谷 勝元
- 5 オブザーバー 望月 聡太、松島 一博、内山益巳、中道三枝子、井田正人（浜名協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター
金子まなみ、渡邊涼子
- 7 学 校 山田 順子（校長）、伊藤 充（教頭）、平本智之（主幹教諭）
柴田 素女枝（CS ディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵
- 9 傍 聴 者 2名
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 柴田 素女枝
- 11 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、高林委員から会長を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）授業参観の感想
- （2）「全国学力・学習状況調査」と「学校に関する調査の結果」について
- （3）部別協議
課題検討部（加藤、渡辺、望月、金子、校長）
地域体験部（野末、高林、渡邊、井田、主幹教諭）
学校支援部（町田、佐々木、内山、松島、中道、教頭、CS ディレクター）
- （4）各部報告・全体協議
- （5）その他
①学校運営協議会自己評価について
②教育総務課より

13 会議記録

会長から委員総数9名のうち6名の出席があり、過半数に達するため会議が成立している旨の報告があった。

- （1）各委員から「授業を落ち着いて受けている」、「教室の温度管理がクラスごと違っていた」などの授業参観の感想があった。
- （2）主幹教諭から「全国学力・学習状況調査」「学校に関する調査の結果」について別紙資料P9～P14に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。
・来校された方にあいさつしていいのかどうかを大人が示せばもっとできるようになるの

ではないか。まずは大人が範を示すのが大切。(内山オブザーバー)

- ・ 次回のアンケートに保護者の方にも「来校時あいさつができているか。」という質問を加えてはどうか。(佐々木委員)

- ・ 学習の取り組みの「進んで」をとっての質問に替えてはどうか。(加藤委員)

- ・ 引き渡しの時に安全パトロール隊にも連絡が欲しい。(高林委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 部別協議

(4) 各部報告・全体会議

○課題検討部(加藤委員)

- ・ 今は、発達支援教室に月曜日の朝と午後の授業にボランティアの方に入っていていて問題は解決した。

- ・ 6/18の「交通安全を語る会」に前回の協議により安全パトロール隊に今年から参加予定だったが悪天候のため中止となった。6年生が話し合いした事に安パトの意見を今後どう加えることができるか。

- ・ 小松商店連盟が10/13にイベントを開催予定、地域の子とも交流をしていきたい。

○地域体験部(野末委員)

- ・ コスモスの種まきは悪天候のため子供たちとできなかった。11/5に予定されている鑑賞会には見学・手伝いに来て欲しい。

- ・ あいさつを活発にしていくためには、まず大人からあいさつをしていくことが大切。コロナ禍の時よりあいさつを返してくれるようになったという声もあり、長い目で見ていきたい。みんながあいさつをするという地域全体の雰囲気大切。

○学校支援部(教頭)

- ・ ボランティアの募集は順調に人が集まっている。自分の子の学年ではどんな募集があるのか保護者の方にも浸透してきているようだ。

- ・ 各グループのボランティア活動は例年通り活動している。

- ・ コミュニティ・スクールだよりを、協働センターと十八屋の階段下に掲示してもらっている。今後も掲示場所を増やしていきたい。サイズや見やすさなど今後の課題。

○全体協議

- ・ 10/16に就学時健診を行うが保護者のボランティアは集まりにくい自治会の方や、他のボランティアグループに協力をお願いしたい。(町田委員)

- ・ 公会堂の普段の人の出入りはどうか(校長)。→サロンなどの活動をしていないため限られた人のみでたよりを掲示するにはあまり向かない、外に掲示してもごみ出しで慌ただしい人たちの目に留まるかどうか。それよりは商店街などの方がいいのでは。(町田委員)

(5) その他

- ・ 教育総務課より

- ・ 浜名協働センターからサポートカー体験と子どもふるさと教室について案内があった。

- ・ 司会から次回の第3回の会議の予定は、12月13日(金)に多目的室で開催する旨の報告があった。内容は、学校評価や学校運営協議会自己評価について話し合う予定。

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

（1）教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

（2）教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
評価項目 2			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立浜名小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- OPTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 学校の教育活動がより充実するよう、来年度も協議会として学校へ意見を伝えていきたい。
- もっと協議会の活動について周知を図る。
- 少しずつでも子供たちの様子を見られるように。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長からの学校運営の基本方針の中で分からない語句があった。それに対して、委員から多くの質問が出て、「分からないままにしない」、「より理解しようとする」という思いで取り組むことができている。
- 話し合いの方法を工夫し、より協議会として学校経営方針に沿った活動に取り組めるようにしていきたい。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 委員として授業を参観したり、学校の話を知ったりする中で、地域資源の積極的な活用やタブレットを使った学習などを進めていることがよく分かった。どのような人材が有効であるか、これから協議会の中で話し合っていく必要性を感じている。
- 学校の困りごとを聞けることで、協議会として取り組めること（学びの教室の支援、校内整備など）に必要な人材を呼びかけることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校ホームページやさくら連絡網によって、協議会の内容や取り組みについて伝えることができている。
- より多くの方に知ってもらうために、地域での情報発信の場を増やしていく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- PTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 情報発信の方法を工夫し、より多くの方に協議会の取り組みを知ってもらえるようにしていきたい。

学校に関するアンケート（ ）

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない
4：そう思わない 5：分からない

1	お子さんは、毎日はりきって学校に通っている。	1	2	3	4	5
2	お子さんは、「さわやかあいさつ」ができています。※「さわやかあいさつ」とは丁度よい声の大きさと、相手の顔を見て、相手より先に笑顔でと押さえています。	1	2	3	4	5
3	お子さんは、ルールやマナー（礼儀、交通ルール、友達と仲良く）を意識して生活している。	1	2	3	4	5
4	お子さんは、本読みや書き取りなどの家庭学習に進んで取り組んでいる。	1	2	3	4	5
5	お子さんは、学校や家庭で運動や外遊びに親しんでいる。	1	2	3	4	5
6	学校は、楽しく分かりやすい授業をしている。	1	2	3	4	5
7	学校は、子供一人一人を理解し、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	1	2	3	4	5
8	学校は、安心して楽しく通うことができる場所である。	1	2	3	4	5
9	学校は、地域や家庭と連携して教育活動を進めている。	1	2	3	4	5
10	学校は、個別面談や教育相談等が充実し、相談がしやすい。	1	2	3	4	5
11	学校は、便りやブログなどで、学校の様子をよく発信している。	1	2	3	4	5